

一般財団法人日本エスペラント協会 2012年度計画

【0】基本方針

1. 本協会は、「財団法人日本エスペラント学会」を改組し、2012年4月に「一般財団法人日本エスペラント協会」として発足する。本協会は、国際間の平等な言語である国際語エスペラントを普及発展させることにより、よりよい社会を創造する一翼をになう。今年度は特に新財団としての運営基盤を強化する。
2. エスペラント運動の発展には、本協会の理念に賛同し、本協会を支援する会員が増えることと、その会員がエスペラントに関するより高い学力やその意義についての強い認識を持つことが重要である。今年度は、そのための運動をより強化する。今年度はエスペラント発表125周年にあたるので、それを記念する国際的な取り組みと連動して、運動を進める。

【1】エスペラント普及事業（担当：普及推進部）

【1. 1】基本方針

1. 日本を代表するエスペラント組織として、国内エスペラント団体と連携し、エスペラントを知らせ、エスペランチストを増やす普及活動を行う。
2. 本会の基盤である会員の活動への支援および会員からの支持の強化と会員層拡大を図る。
3. 本年のエスペラント発表125周年を意識して広報活動を行い、この機会を活動に活かす。

【1. 2】エスペラント活動推進事業の計画

1. 本会の管理部門と連携して、規程類を整備しつつ、次の事項を実施する。
 - (1) 会員の拡大・定着への働きかけを、各部と協働し継続する。
 - (2) 団体会員制度の運営方策を検討し試行する。個人会員支援策を検討する。
 - (3) 会員状況を把握し、活動基礎資料として関係者に提示する。
 - (4) 会員による諸会合などを通じ、情報交換共有、施策反映を行う。
2. 団体会員を始め諸団体および個人のエスペラント普及活動を支援し、あわせてエスペラント運動の空白県を無くす方策を検討する。
3. エスペラント懇談会等、活動の経験交流と連携の場を提供する。
4. 「エスペラント運動年鑑」を作成し公表する。また、講習会情報を収集、活用する。
5. 活動に功績のあったエスペランティストに対する「小坂賞」の授賞を小坂賞委員会にて行う。

【1. 3】エスペラント広報事業の計画

1. 本会のウェブページにて、エスペラントや行事・講習会等に関する情報を提供する。
2. マスコミ向け広報紙「エスペラント通信」を4回発行する。
3. 展示会（東京のグローバルフェスタ）への出展を企画する。

【2】エスペラントを用いた国際交流事業（担当：国際部）

【2. 1】基本方針

1. 国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会（Universala Esperanto-Asocio=UEA）の日本における国別代表組織として推進する。また、事業をUEAのアジア運動委員会（Komisiono pri Azia Esperanto-Movado=KAEM）と協働する。事業にあたっては、日本のUEA委員、UEAデレギート、KAEM委員やKAEM協力者の力を結集する。
2. 日本のエスペランチストが行う国際的なエスペラント活動を支援する。
3. 外国のエスペランチストに日本の各種催事への参加を促す。

【2. 2】国際交流事業の計画

1. 2012年度に行われる国際的なエスペラント大会へ参加し、また協力を呼びかける。青年層には「国際行動支援金」制度の活用も呼びかける。
 - (1) 第97回世界エスペラント大会（ベトナム・ハノイ、7月28日-8月4日）。UEA委員の派遣

および参加旅行団の実施を含む。

(2) 第68回国際青年エスペラント大会（ベトナム・ハノイ，8月5日-11日）。

(3) 第99回日本エスペラント大会（札幌，10月6日-8日）中の関係行事の実施：アジア活動分科会，UEA-delegitoj分科会，Pasporta Servo分科会。

(4) 第31回日韓中エスペラント青年セミナー（日本）。

2. 日本のエスペランチストへの支援として，国際文通サービスを継続する。

3. エスペラント発表125周年記念活動に協力する。

【3】エスペラント研究教育事業（担当：研究教育部）

【3. 1】基本方針

1. 教育部門においては，エスペラント学習者に語学力向上の支援，エスペラント指導者の育成，エスペラント入門のための教材提供，学校におけるエスペラント授業への支援，エスペラント界外でのエスペラント教育に関する事業への支援等に取り組む。

2. 研究部門においては，エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組む。

3. ハヶ岳エスペラント館を日本エスペラント協会の研修施設として，エスペラント運動の発展に寄与する。本施設を内外のエスペランチストおよび一般に開かれた施設として，年間200人以上の利用を目指す。また管理保全を行い，開館(1994年)から50年間は使用できることを目指す。

【3. 2】研究教育事業の計画

1. エスペラント集中学習の機会を設ける。

(1) 第45回エスペラントセミナーオ：5月3日-5日，東京で開催する。

(2) 中級セミナー：秋頃，ハヶ岳エスペラント館で開催する。

(3) 講師養成講座：2013年1月か2月，関西方面で開催する。

2. エスペラント学力検定試験，新テスト，およびKER-ekzamenoを実施する。

3. 「ドリル式エスペラント入門」を新教材として公開する。エスペラント125周年事業の一環とする。

4. 生涯学習の観点からも，全国のエスペランチストが在宅で取り組める方策を検討し，提案していく。

5. 学校でのエスペラント授業を支援する。

6. 研究発表会を日本エスペラント大会にて企画する。

7. 言語問題に関するシンポジウムを2013年に開催するべく準備する。

【3. 3】ハヶ岳エスペラント館における事業の計画

1. 今年度の開館は4月14日（土）-11月8日（木）の間とする。開館期間中，週末と夏期は宿直当番を置き，利用者の便を図る。

2. 次のように研修行事を主催する。また他団体のエスペラント関係行事の共催者となる。

(1) 第14回エスペラント漬け合宿（NEK）（エスペラントのみを使って行う合宿。8月25日-27日）

(2) エスペラント漬け臨時合宿（スイス人ミレーユ・グロジャンの来日にあわせて臨時開催，5月23日-25日）

(3) エスペラント関係展示「第97回世界エスペラント大会開催地ベトナム」（通年）

(4) ハヶ岳エスペラント講演会（テーマ未定，7月7日）

3. 本館の運営，利用者拡大のための広報活動および保全を「ハヶ岳エスペラント館運営計画」にのっとり実施する。

【4】エスペラント雑誌の刊行事業（担当：編集部）

【4. 1】基本方針

1. 会誌「La Revuo Orienta／エスペラント」を発行することで，日本のエスペラント運動の発展に寄与する。

2. 会誌が持つ全国、地方、県などの各組織間のエスペラント運動を相互に結ぶネットワーク的機能を重視する。また、記事により読者の拡大に寄与する。
3. 編集に当たっては、運動・学習・教養の3つのバランスを重視し、読者各層の要望に応じられる会誌作りを行う。また、誌面のエスペラント文と日本語文との分量の調和をはかる。

【4. 2】会誌刊行事業の計画

1. A5判40ページを原則とした会誌を毎月（8・9月号は合併号）発行する。
2. 電子版については、個人会員に専用ウェブページで提供する。
3. 視覚障害者、高齢者向けの音声版会誌の発行を拡大する。また点字版製作に協力する。
4. 編集体制を強化する。月例の編集会議の他に、2013年頭には拡大編集会議を開き、会員の声を誌面に反映させる。また、編集委員の拡大を図り、委員は編集スキルの更なる向上を心がける。
5. インターネットを活用し、また会員のインターネット利用による情報交流を推進する。
6. 各月の特集号については、下記を基本とする。

4月号 新しい運動／5月号 日本エスペラント大会（札幌）へ／6月号 新入会員に聞く＋先輩エスペランティスト紹介／7月号（前号に続く）／8-9月号 運動年鑑／10月号 世界エスペラント大会／11月号 未定／12月号 日本エスペラント大会

【5】エスペラント図書等の刊行及び頒布事業（担当：出版部）

【5. 1】基本方針

1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行う。
2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売する。また、内外のエスペラント雑誌購読を取り次ぐ。

【5. 2】図書刊行事業の計画

1. エスペラントの学習に関わる図書
 - (1) 日本語エスペラント辞典（宮本正男編）改訂版及びエスペラント日本語辞典第2版について、電子化を含む準備作業に入る。このための委員会の設置を計画する。
 - (2) 「まるごとエスペラント文法」などの本会刊行図書の改定再版を計画する。
2. エスペラント文化の発展に関わる図書
 - (1) 第99回日本エスペラント大会記念出版：絵本「よみがえれ、えりもの森」のエスペラント訳。
 - (2) La Revuo Orienta誌のKlerigaj paĝojに掲載された各国のエスペランティストの寄稿文の小冊子化
3. エスペラント普及に資する図書
 - (1) Ponto-Serioの充実を図る。

【5. 3】図書頒布事業の計画

1. エスペラント書籍の販売、取次ぎを行う。出張販売に応じる。
2. 隔年発行の図書カタログを今年は発行する。
3. 一部の在庫図書については、特価販売を計画する。

【6】エスペラント大会主催事業（担当：大会組織部）

【6. 1】基本方針

1. 日本エスペラント大会は、エスペラントの実用・活用のある場であるとともに、エスペラントを社会に知らせる場である。また、エスペラントに習熟するための場、エスペラント文化を高める場としても機能する。このような意義を持つ日本エスペラント大会を継続して開催する。

【6. 2】日本エスペラント大会主催事業の計画

1. 日本エスペラント大会を円滑に実施するための体制を整える。
2. 北海道エスペラント連盟との共催で第99回日本エスペラント大会（2012年）を札幌市で10月6日-8日に実施する。大会テーマは”Ni interparolu pri verda naturo en verda lingvo!”とする。
3. 2013年には日本エスペラント大会は100回を迎えるので、記念大会として充実させるため今

年度から準備を進める。開催場所を首都圏として、共催団体と共に計画をたてる。

【7】 其他事業及び法人の管理

【7. 1】 基本方針

1. 本会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援し、また会員層の拡大を図る。
2. 各事業部門と連携をとり、事業が円滑に行えるよう支援する。
3. 新財団の発足にあたり、管理方法を確立させる。

【7. 2】 総務部担当事項の計画

1. エスペラント会館活用事業：東京都早稲田にあるエスペラント会館を、本会事務所としてのみでなく、テナント貸与、教室・会議室貸与として活用する。
2. 総務部の職務（庶務、会員管理、役員支援、施設管理など）を、事務局および関連委員会（選挙管理委員会など）を通じて実行する。事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を開き、対応する。
3. 法人移行に伴い必要な手続きを実施し、新法人体制を確立させる。
4. 各事業部門を支援する。

【7. 3】 財務部担当事項の計画

1. 公益目的支出計画および長期予算計画に基づき、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支える。
2. 新たに移行発足する一般財団法人としての運営につき、財務面から軌道に乗せる。

【7. 4】 ウェブ管理部担当事項の計画

1. 本会のウェブページにて、本会の一般財団法人としての情報を公開する。
2. 本会のウェブページにて、販売図書などの会員サービス情報を提供する。
3. 本会の事業をインターネット技術の側面から支援する。

【別項：八ヶ岳エスペラント館運営計画】

日本エスペラント協会2012年度計画3. 3項に基づき、八ヶ岳エスペラント館の運営、広報および保全について下記のように計画する。

1. 館の運営に関して次の活動を行なう。
 - (1) 開館時、閉館時には、八ヶ岳エスペラント館運営委員会を開く。
 - (2) 運営委員を増やす。
 - (3) ライセンス保持者を増やす。またライセンス保持者で、希望する者には再講習を実施する。
2. 利用者の拡大のために、次のように広報活動を行なう。
 - (1) 日本エスペラント大会で八ヶ岳エスペラント館分科会を開く。
 - (2) La Revuo Orienta誌へ「八ヶ岳だより」を連載する。
 - (3) エスペラントの地方連盟、各地のエスペラント会、日本・世界のエスペランティストのインターネット網ERAJ、Landa Agadoへ記事を配信する。
 - (4) 八ヶ岳エスペラント館のウェブページを充実させる。
 - (5) 国際的にも記事の配信を行う。
3. 館の管理保全について。
 - (1) 日常的に、建物の点検を行う。
 - (2) 館内設備、什器備品の整備と管理を行う。
 - (3) 組織の名称変更に伴い、館の看板の新增設を行う。設置場所は、研修棟の壁、塀、道路脇の案内板の3箇所とする。